


人口減少時代のまちづくりと財政

表題は第14回地方議会議員研修会（主催 NPO 法人 建設政策研究所）で行った講義テーマだ。サブタイトルは「公共事業と公共施設のあり方」で、昼休みを挟み3コマの連続講義である。



久しぶりの地方議員さんを対象にした講義であり、時間をかけて準備した。こうして議員を対象に話すのは3回目だ。1回目は2004年1月29日の愛知県岩倉市議会合併研究特別委員会である。2市2町の合併協議が進められている中での講演で、「もう一つの選択肢」を含めた慎重な検討を求めた。2回目は2007年8月1日の愛知県「知多北部3市議会議員研修会」である。3市長をはじめ、100名余りの議員が集まり、緊張して「第2期地方分権改革と自治体財政」をテーマにたっぷり話した。それぞれ2004年1月30日、07年8月5日にレポートを書いている。

さて今回の研修会だが、講義内容は下記のとおりだ。

講義3 人口減少時代のまちづくりと財政 公共事業と公共施設のあり方	
第1講 人口減少時代の自治体行財政	人口減少時代を迎える中で、全国の自治体で行財政とまちづくりのあり方が問われています。 「人口減少時代のまちづくりと財政」をテーマにする本講座は、地方財政のしくみと問題点を踏まえ、現在進められている「地方創生」政策の構想と現実について行財政面から検証します。 とりわけ地方交付税などの財政措置、公共事業と公共施設、まちづくりのあり方に焦点をあてて講義していきます。
第2講 「地方創生」政策の構想と現実	
第3講 公共事業と公共施設のあり方	
	 講師：山田 明 名古屋市立大学名誉教授

3講とも講義要旨を詳しく書き、多くの関連資料も載せた。これにパワーポイントとホワイトボードを使って講義を進めた。久しぶりの「3コマ連続講義」なので、最後の方はすこし疲れたが、なんとか無事にこなせ、ほっとしたものだ。とくに力を入れた点など2点だけ紹介する。

一つは、最初に「時間軸」と「空間軸」という視点で戦後日本の地方財政を検証したことである。2つの軸については、報告要旨をつくる段階では入れていなかった。戦後70年の番組編集に関わる中で、この軸での話が好評だったので、急遽とり入れた。

もう一つは、前日の特別講演のニセコ町の話の端々にとり入れたことである。ニセコ町については別にレポートするが、参加者と話題を「共有」でき、地方財政のしくみについても、具体的な事例をもとに話すことができた。

(2015年10月26日)